

事業活動実績報告書

施設名	明昭第二幼稚園
教育理念	○子どもたち一人ひとりの個性・発見・発想を大切に生きる力の基礎となる丈夫な身体とやさしい心、人とかかわる力、たくましさをそだてていく。 ○遊びを中心に子どもたちの主体性を大切に一人ひとりの個性、発達の姿に応じた援助・保育をする。
事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	野菜の栽培などを中心とした食育に重点を置いた保育
2 実施期間	令和 5年 4月17日 ~ 令和 6年 3月 4日

3 取組概要	<p>(取組日) 令和5年 4月17日 ~ 令和5年 7月13日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>5歳児がラッキー通り商店街のメロン育て隊に参加、4鉢のメロンの苗を購入、地域の方(名人)に指導を仰ぎ、栽培する。うどんこ病にかかるなど苦戦するが2鉢でメロンの実がなる。毎日、成長を楽しみに当番を決め、水をやる園児の姿が見られた。間引きしたメロンを切り、匂いを嗅ぐ。きゅうりと同じ匂いだという声があがる。夏休み前に2鉢から2個のメロンを収穫、町会からも1個いただき、観察する。食べることはできなかったが熟す様子や中身を見ることが出来た。メロンづくりに興味を持ち、地域の収穫祭に参加した親子もあった。</p>	
	<p>(取組日) 令和5年 5月12日 ~ 令和5年 6月15日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>3歳児で保育室前のプランターでピーマンと枝豆を苗から3株ずつ栽培する。葉が育ち花が咲く様子、実がなる様子を観察する。毎日成長を楽しみにする子どもたち。色や形、大きさの変化に興味深々だった。普段目にする野菜の育ちを見ることで食への興味・関心が深まる。6月15日に収穫する。ピーマンはスタンプングに使用し、野菜の断面にも興味を持てた。絵本「やさいのおなか」も見て楽しんだ。枝豆は乾燥させ、大豆として節分にお守りとして使用。実の変化、活用を楽しむ。</p>	
	<p>(取組日) 令和5年 5月15日 ~ 令和6年 3月 4日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>4歳児での栽培活動。5月にプランターでゴーヤを育て、2階保育室から1階保育室へネットを垂らし、つるをはわせゴーヤカーテンを作り、ゴーヤを収穫。高いところにあるゴーヤは実をそのままにしておいたので、中身が破裂し種を飛ばしていた。花の色や実、つるの這い方など成長の変化を楽しむ。屋上菜園では大根を栽培。10月20日に種まきし、2月16日に収穫。成長する様子を観察。土の中で大きく育つ大根の収穫を楽しみ、大根は家庭で味わう。3月4日にジャガイモの種芋植えをする。年長時のカレー作りに使うのを楽しみにしていた。</p>	
	<p>(取組日) 令和5年 5月11日 ~ 令和5年 6月16日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>5歳児での栽培活動。プランターでクラスごとにトマトときゅうりを3株ずつ苗から育てる。当番を決め、水やりする。葉やつるがのびる様子、花が咲き、実がつく様子を観察。毎日成長を楽しみに6月に入り、クラスごとに少しずつ収穫。他クラスの野菜の成長を気にしたり、自分のクラスのものと比べたりして実がなるのを楽しみにしていた。収穫後はクラスで少しずつ大事そうに洗って食べた。育てたトマトときゅうりに愛着を感じているようだった。</p>	

3 取組概要

(取組日) 令和5年 6月 2日 ~ 令和5年 6月 2日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること
 5歳児が埼玉県加須市にある東部給食センターへ観光バスで見学に行く。調理施設を見学し、給食ができるまでの説明を受ける。大きな調理道具や大勢の方が調理に関わっていること、野菜など新鮮な食材の調理法など様子をじっくり観察する。管理栄養士のおはなしの後、出来立ての給食を食べ給食を作ってくれている方々へ感謝状をお渡しする。見学後の給食で子どもたちの様子が変わり、残さず食べようとする意欲が高まり、好き嫌いも少なくなる。



(取組日) 令和5年 6月 23日 ~ 令和5年 6月 23日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること
 5歳児がカレーづくり、全園児に提供する。人参、ジャガイモ、玉ねぎ、肉、カレールーを材料に調理する。ジャガイモは年中児に屋上で育てたものを収穫し使用する。三角巾を被り、エプロンをして材料を切るところからカレーづくりに挑戦。各クラス3グループ、合計9グループに分かれ調理。寸胴で調理。9つの鍋にわけ、各クラスと職員室に配膳、ご飯を入れたお弁当箱にカレーをよそう。温かくておいしいカレーとよい香りが食欲をそそり、おかわり続出。野菜嫌いの子が喜んで食べている姿も見られた。カレーの絵本、ままごとセットも活用する。



(取組日) 令和5年 9月 20日 ~ 令和5年 9月 20日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること
 満3歳児が屋上菜園で育てたサツマイモを収穫する。3~5歳児は観光バスで川越でもほりを体験するが、満3歳児は体力を考慮し、園で行う。土の中にある虫を怖がる様子もあったが、土の中からサツマイモが見え始めると嬉しそうに土を掘っていた。2人ずつ協力して1株抜き嬉しそうな表情や収穫の達成感を味わっていた。給食で出たサツマイモにも興味を持っていた。自然(土)に触れる体験、葉の形、イモの感触や形の違いを肌で実感した。



(取組日) 令和5年 12月 5日 ~ 令和5年 12月 5日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること
 全園児対象。いどう果樹園。園庭でのみかん狩り体験。園庭にみかんの実をつけた木が43鉢並ぶ。園児1人当たり3個のみかんを収穫。満3歳・3歳児は、取り方の説明を聞き、収穫。4、5歳児は農家の方からみかんが出来るまでのおはなしをホールで聞いてからみかん狩りをする。5歳児はおいしいみかんの見分け方を聞き、慎重にみかんを収穫する姿が見られた。みかんの木々、葉、なり方を観察し、みかんをもらって、1つは園で食べ、2つを家庭に持ち帰る。自分がとったみかんに大喜びで満足そうに食べていた。家に帰ってもみかんの話でもちぎりだった。実体験が食への興味・関心、意欲を高めていった。学級閉鎖のクラスがあり、屋上のみかんの木でみかん狩りをした。



(取組日) 令和 5年 12月 8日 ~ 令和5年 12月 8日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること
 全園児に保護者ボランティア(役員)がみそ汁を調理し提供。3、4歳児の保護者役員によるみそ汁づくり。カセットコンロ7台を使い、7個の鍋に大根と玉ねぎのみそ汁を作る。材料と味噌、カセットボンベは園で提供。コンロは保護者から借りる。野菜の処理、調理からはじめ完成後は鍋を各クラスに運び、保護者が子どものマグカップに配膳。あたたかいみそ汁をおいしそうに飲む子どもたち。おかわりをする子どもたち。あたたかいものをおいしくいただき、食べる喜びや作り手の保護者にお礼をいい、感謝の気持ちも育まれた。



(取組日) 令和 5年 12月 8日 ~ 令和5年 12月 8日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること
 5歳児がもちつきをし、ついた餅を食べる。竈に蒸籠、うすきね、こね器などもちつき道具をそろえ、もちごめから餅が出来るまでを体験。5歳児は餅をつき、餅をきなこ醤油で食べる。餅の成型は年長の保護者役員がお手伝い。三角巾をして、きねを一生懸命ふるいもちつきをする子どもたち。日本の文化に触れる。3、4歳児はその様子や餅ができるまでを観察する。誤嚥防止から3、4歳児は餅を食べずに、クラスに飾る鏡餅を餅に触れながら作る。衛生面に配慮し、もちつきやもちの感触を体験する。食・食文化への興味・関心が広がる。



3 取組概要	(取組日) 令和5年12月7日 ~ 令和5年12月7日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ----- 12月5日のみかん狩りの際に学級閉鎖だった3歳児たんぼぼぐみ が屋上のみかんの木でみかん狩りの疑似体験をする。30名の クラスで1人1個ずつは、みかんをもぐことができた。もぎ方 を担当が教え、高い枝のみかんは担任が抱っこして収穫す る。みかん狩りののぼりを作ってたて、みかん狩りの雰囲気 を味わった。残念ながら食べることはできなかったが、12月 6日のみかん狩りのおみやげは家で食べ味わっている。自然 にふれる貴重な体験となった。	
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの	
(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの	
(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの	

効果検証報告書

施設名		明昭第二幼稚園
教育理念		○一人ひとりの個性・発見・発想を大切に生きる力の基礎となる丈夫な身体とやさしい心、人と関わる力、たくましさ育てる。○遊びを中心に子どもの主体性を大切に一人ひとりの個性、発達の姿に応じた援助・保育をする。
事業の区分(5領域)		健康・人間関係・環境・言葉・表現
1 事業名		野菜の栽培などを中心とした食育に重点を置いた保育
2 事業概要		屋上菜園でジャガイモ、サツマイモ、ダイコンをプランターを利用し、トマト、きゅうりなどの夏野菜ピーマン、枝豆を栽培・観察・収穫。ジャガイモは5歳児のカレーづくりの材料となる。5歳児の給食センター見学、もちつき体験、保護者にボランティアによる全園児を対象としたみそ汁の提供、移動果樹園を利用して園でのみかん狩り体験、地域商店街のメロン育て隊に参加してのメロン栽培、食育関連の絵本に親しむ。
計画時	3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 担任、教職員、保護者ボランティア(役員)が携わる。 5歳児のカレーづくり、もちつき、保護者によるみそ汁づくりでは鍋、ガス、ガスコンロ、うす、きねなどの道具類を使用する。堀切ラッキー通り商店街の協力の下、メロンを4鉢苗から育てる。担任、教職員、園児によって屋上菜園やプランターで野菜を栽培。給食センター見学やいどう果樹園を利用して園庭でのみかん狩りを実施。 食育につながる絵本を購入し、絵本を通し食への興味・関心を深める。
	事業後 3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 園庭・プランターを利用しての栽培は時期を考慮し、各学年バランスよく体験することが出来、観察と収穫の喜びを味わえた。トマト、きゅうりは園児が食し、大根は家庭に持ち帰る。ジャガイモは5歳児のカレー作りに利用し4歳児の時から育てたものを材料に食し、野菜嫌いな園児も自分たちで作ったカレーをおいしそうに食べる姿が見られた。給食センター見学や保護者ボランティアのみそ汁提供では作り手への感謝の気持ちが育ち、給食センター見学後は残食が減った地域のメロン育て隊参加は地域との連携や地産地消につながる。もちつきやみかん狩り、食に関する絵本に親しむことで食への興味・関心が深まる。食べ物を大切に作る気持ちも育った。
計画時	4 事業のねらい	・食育を通して健康な体づくりをする。 ・楽しく食えること、食への興味・関心を通して食への意欲を高める。 ・食物を食べることなどを通し、生命を尊重し、いただきます、ごちそうさまの精神を学ぶ。 ・食物を無駄にしない、大切にすることで食品ロスをなくすなどのSDGsの問題を考えるようにする。 ・食事のマナーを身につけるとともに給食センター見学などを通し、食事を提供してくれる人への感謝の気持ちを育む。
	事業後 4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・健康な体づくりの効果は、他の要因もあり効果・検証は困難だが、楽しく食えることや食への興味・関心が増し、食への意欲が高まったことに効果を見ることができた。 ・生命を尊重し、食べ物を無駄にしない態度はプランターで育ったトマトやきゅうりを大切に慈しみ、クラスで分けて食べる姿に現れた。栽培体験とともにいただきます、ごちそうさまの精神は毎食ごとにあいさつを繰り返すことで育まれた。 ・給食センター見学、みそ汁体験を通し作り手への感謝の気持ちをより一層抱き、表すことができた。次年度はSDGs、食事のマナーなど引き続き、実践を発展できるよう検討していきたい。
計画時	5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 ・3歳児は5月～6月にかけてプランターでピーマン、枝豆を栽培し、葉の形や花の色、実が大きくなるまで観察、ピーマンを使ったスタンプング、枝豆は乾燥させ大豆として節分の際にお守りにするなど、観察だけでなく収穫後も保育に活かす。 ・4歳児は5月～3月にかけてゴーヤを育て遮光カーテンにしたり、屋上菜園で10月に大根の種まきをし、2月に収穫。3月にジャガイモの種植えをし、5歳児ってからカレー作りに利用する。 ・5歳児は、5月～12月にかけて活動。商店街のメロン育て隊に参加し、メロンを栽培、7月に収穫。6月に給食センターを見学。プランターでトマト、きゅうりを育て7月に収穫、ジャガイモを5月に収穫し、6月にカレーづくりをする。12月にもちつきを体験し、つきたての餅を食べる。 ・いもほり遠足に参加しない満3歳児は10月下旬、屋上菜園で、さつまいも堀りをする、 ・12月に移動果樹でみかん狩り体験。学級閉鎖のたんぼぼぐみは屋上のみかんの後日体験。
	事業後 5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 3～5歳児は野菜を育て収穫し、観察を通し食への興味・関心が深まった。他学年の栽培物も観察でき、収穫への期待が高まった。屋上で収穫したジャガイモを利用しての5歳児カレーづくり、保護者によるみそ汁提供では全園児で温かい食物を食べ、食欲が増進された。好き嫌いがなくなる園児もいた。給食センター見学後、食べ残しが少なくなり、作り手への感謝の気持ちが育つ。メロン育て隊への参加で地域交流が出来、5歳児もちつきは日本の文化にふれる貴重な体験となった。満3歳児も屋上でのいもほりや全園児のみかん狩りで自然に触れ、収穫の喜び、自然の恵みを味わい、食への興味・関心、感謝の気持ちが育った。

計画時	6 環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培に必要な道具類シャベル、じょうろなど、腐葉土や肥料、トマト、きゅうり、ピーマン、枝豆などの野菜の苗、ダイコンの種、サツマイモ、ジャガイモの種芋など。 ・土を作り、屋上園庭を耕すための小型耕運機。 ・カレーづくりに必要な食材、寸胴、包丁、まな板などの道具・調理器具、ガス燃料。 ・みそ汁づくりに必要な材料(味噌、野菜)、寸胴、なべ、おたま、ガス燃料、カセットコンロ。みそ汁づくりに協力いただく保護者ボランティア(役員)。 ・食育関連の絵本、紙芝居などの図書と教材。
	事業後	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培は事前に栽培担当の職員チームを編成、年間計画を立てたので、適時に全園児が体験できた。耕運機購入後の屋上菜園の整備や土づくりがはかどった。カレーづくり、みそ汁づくりとも園児、保護者とのシミュレーションや事前準備のもと、必要な体験をすることができた。食育関連の絵本により食への興味・関心、栽培物への知識も得ることができた。木製のカレーづくりのままごとセットはカレーづくりのシミュレーションに役立った。 ・もちつきの準備、環境整備、学級閉鎖となったたんぼぼぐみの屋上でのみかん狩り疑似体験など計画時より加わったものもあったが、効果が得られる環境構成ができた。
事業後	7 期待される効果 児童の姿	<p>取組を通じて期待される児童の姿や効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の大切さを知り、食に対する興味や関心を持ち、食べる意欲が育つ。 ・給食や家庭弁当などの食材に興味を持ち、食の幅が広がる。 ・野菜の栽培、カレーづくりなどを通し、食べ物を大切にする気持ちが育ち、食品ロスを出不さない意識が芽生える。 ・様々な野菜の成長に興味を持ち、調べてみよう、育てて見ようとする意欲が芽生える。 ・生産者や料理の作り手への感謝の気持ちが育まれる。 ・地域の人に助けられメロンづくりをすることで地域の人との交流や感謝の気持ちが育まれる。
	事業後	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培を通し、育てることの大変さや自然の恵みのありがたさを知り、食の大切さ、食に対する興味・関心、自然の恵みへの感謝の気持ちが深まり、収穫したものを食べたり、カレーづくり、給食センター見学、もちつきなどを通して食べる意欲や食品を無駄にしない意識も芽生えた。 ・他学年がプランター野菜や屋上菜園の栽培物を目にしたたり、食べることで野菜の成長に興味を持ち、育ててみようとする意欲が育つ。 ・給食センター見学やみかん狩りでは作り手・生産者の方や地域の方への参加は地域交流やメロンづくりに尽力いただいた地域の方への感謝の気持ちも育まれた。
8 効果検証 総括	<p>事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて</p> <p>学年、全体での栽培計画をたて、プランター、園庭菜園を利用し有意義な体験ができた。他学年の栽培物を見ることで興味・関心も深まった。食や栽培に関する絵本も役立ち、栽培する意欲も育っていった。自分たちが育て収穫した野菜を嬉しそうに持つ子どもたちの笑顔や大事そうにみんなで分ける姿があり、食べ物を大切にする気持ちが育ったように思われる。5歳児はカレーづくり、もちつきを通し、作り手となる体験ができ、食への興味・関心が一層高まった。またみそ汁提供など温かいものを食べる貴重な体験ができ、おいしく食べる工夫の必要性も感じた。作り手・生産者への感謝の気持ちは給食センター見学、保護者のみそ汁提供、みかん狩りなどで育まれていた。今後は家庭弁当を作る保護者への感謝の気持ちを表す活動を次年度は考えたい。月ごとに入園するため、難しいことだが、満3歳児の栽培体験も考えてみたい。来年度は、おにぎりづくりを企画している。次年度は食育として食のマナーも身につけられるような保育にも取り組んでいきたい。</p>	